

- (1) 病院薬剤師の地域偏在と医療への貢献
武田泰生(一般社団法人日本病院薬剤師会会长)
- (2) 薬剤師確保に関する愛知県の取り組みと現状
加藤 さや香(藤田医科大学病院薬剤部)
- (3) 岐阜県における薬剤師確保の検討と取り組み
松本利恵(社会医療法人蘇西厚生会松波総合病院
薬剤部長)
- (4) 三重県における薬剤業務向上加算に対する取組：
県行政、県薬剤師会との連携
岩本卓也(三重大学医学部附属病院薬剤部)
- (5) 薬剤業務向上加算取得について
瀧 祐介(菊川市立総合病院薬剤科)

11. 医療DXの実装とDX人材育成戦略

- 座長：石川賀代(社会医療法人石川記念会HITO病院
理事長 石川ヘルスケアグループ総院長)
瀬戸僚馬(東京医療保健大学医療保健学部
医療情報学科教授)
- (1) 病院DXが描く医療の未来～3D(DX・DATA・DESIGN)で創る経営と人材の新戦略～
神野正隆(社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院
理事長補佐)
 - (2) 医療DXから病院DXに～DX人材確保と役割について～
芦原教之(医療法人徳洲会湘南鎌倉総合病院事務部長)
 - (3) 「できることをやる看護DX」のススメ～現場の課題を価値に変えるDX推進担当の役割～
上川重昭(株式会社麻生飯塚病院看護部)

12. 2040年へ向けた新たな地域医療構想について

- 座長：武藤正樹(社会福祉法人日本医療伝道会衣笠
病院グループ理事)
下村 裕見子(北里大学大学院医療系研究科
臨床医科学群精神科学研究員)
- (1) 新たな地域医療構想について(仮)
迫井正深(厚生労働省医務技監)
 - (2) 急性期における地域医療構想と病院経営(仮)
神野正博(社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院
理事長)
 - (3) 包括期における地域医療構想と病院経営(仮)
仲井培雄(医療法人社団和楽仁芳珠記念病院理事長)
 - (4) 2026年の診療報酬改定を受けて～高齢者医療と
地域包括医療病棟のあり方～(仮)
小川聰子(医療法人社団東山会調布東山病院理事長)
 - (5) 持続可能な多職種連携の取り組み(仮)
座長：佐藤公治(日本赤十字社愛知医療センター
名古屋第二病院院長)

- (1) 心臓リハビリテーションにおける多職種連携の取り組みと課題
牧田 茂(医療法人久幸会川口きゅうぱらリハビリテーション病院副院長)
 - (2) 未定
中澤 信(医療法人仁医会あいちリハビリテーション
病院理事長)
 - (3) 未定
山本義浩(トヨタ記念病院腎臓内科科部長)
14. ポリファーマシーをいかに減らすか
- 座長：中村博彦(社会医療法人医仁会中村記念病院
理事長・院長)
折井孝男(東京医療保健大学大学院)
基調講演
PMDA・MHLWにおける医薬品適正使用推進策
中井清人(医薬品医療機器総合機構)
- (1) Less is More：処方箋のダイエット大作戦
池澤和人(医療法人社団筑波記念会筑波記念病院
つくばトータルヘルスプラザマネージングディレクター)
 - (2) ポリファーマシーに立ち向かう在宅看護
喜多悦子(公益財団法人笹川保健財団会長)
 - (3) 病院運営とポリファーマシー～医療現場における
取り組みとアウトカムとしてのポリファーマシー～
小枝伸行(八尾市民病院事務局事務局長)
 - (4) 薬剤総合評価調整加算件数増加の取り組み
中川義浩(くまもと森都総合病院薬剤部長)
15. 医療安全と身体拘束－拘束しないで患者の安全は
守られるか－パート2
- 座長：武藤正樹(社会福祉法人日本医療伝道会衣笠
病院グループ理事)
坂本すが(東京医療保健大学副学長)
- (1) 精神科病院における身体拘束 パート2(仮)
西 典子(医療法人社団厚仁会秦野厚生病院
看護部長)
 - (2) アウトカムよりプロセス重視の身体拘束最小化
キャンペーン パート2(仮)
高橋 香代子(社会医療法人財団慈泉会相澤病院
看護副部長(老人看護専門看護師))
 - (3) 患者サイドからみた拘束 パート2(仮)
稻葉一人(いなば法律事務所代表弁護士)
 - (4) 身体拘束を科学的に考える パート2(仮)
田中聰一(高崎健康福祉大学保健医療学部教授)
 - (5) 医療安全と身体拘束 診療報酬の動向から パート2(仮)
武藤正樹(社会福祉法人日本医療伝道会衣笠
病院グループ理事)